

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・まちづくり事業をうつくし推進隊8団体に委託し、ラグビーワールドカップ来場者への環境視点のおもてなし活動(花いっぱい運動など)等を通じて、広く県民へ「おおいたうつくし作戦」の浸透を図ることができた。
②	・幼児向け環境劇は、幼稚園等からの要望も多く、37公演で3,553人を対象に実施し、幼少期からの環境保全意識の醸成に効果的であるとの評価を受けている。 ・環境教育アドバイザーを165回(受講者数:8,696人)派遣し、地域や学校、職場などにおける環境教育の機会を提供することができた。
③	・うつくし感謝祭やSNSを活用した情報発信により、うつくし作戦のけん引役であるうつくし推進隊は179団体に増加した。 ・なかまづくり推進事業を5団体が活用し、地域住民を巻き込んでの植樹活動を行うなど活動基盤を強化することができた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②③	おおいたうつくし作戦推進事業	100.1	72
①	クリーンロード支援事業	97.2	108

【VI. 施策に対する意見・提言】

○おおいたうつくし作戦県民会議(R1.11)
 ・大分県民でうつくし作戦のことを知らない人が、まだ多いのではないかと。うつくし推進隊が、どの地域で誰たちがどんな活動をしているのか分かるように情報発信して欲しい。活動が見えてくることで参加しようという人も増えてくるのではないかと。また、団体の横のつながりを強めることで、地域での輪が広がるのではないかと。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・うつくし推進隊等が行う環境教育や環境保全活動などを積極的に支援し、点的に取り組まれてきた活動を面的に広げるとともに、うつくし感謝祭や各種キャンペーン活動を通じて「おおいたうつくし作戦」のさらなる浸透を図る。 ・様々な活動等により多くの県民が参加し、環境について考える機会を提供することで、環境意識の醸成を図り、日常生活における環境行動への転換を促進する。 ・幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に、家庭をはじめ学校、地域、職場などあらゆる場面での環境教育を進めるため、環境教育アドバイザーを積極的に活用するとともに、特に、次世代を担う子どもを対象にした環境教育の充実を図る。